

## 夢と希望の美術館

人が生きるということは、常に夢と希望を持って前へ進んでゆくことではないでしょうか。ワクワクして日々を生きることだと思います。

生前、勝山は私が欲しいと言っていたフレスコ美術館を作りたいと言ってくれました。私はフレスコだけでなく、勝山の写真美術館も欲しいと思いました。

お別れの会の指揮をとって下さった桂田さんは、勝山の小中高の友人で、音楽ディレクターです。複弦の楽器をたくさんお持ちで演奏もされます。その貴重な楽器群も展示させてもらえそうです。また、友人の岡村氏も広報として参加下さることになりました。

勝山の入院中、勝山自身や担当の医師、私たち皆で共有していたテーマが「夢と希望の闘病生活!やりましょう」でした。そこで、築90年の古い古いわが家(大田区南馬込)の一角に、フレスコや写真や楽器なども集めて「夢と希望の美術館」をつくりたいと思います。その場を使って何かできれば嬉しいです。

勝山の肉体は少々遠くへ行きますが、こころは一緒に居ると思います。夢と希望をつないで共に何かしようと思われる方、お名前と連絡先をお知らせください。部屋を片づける道のりから楽しみつつ歩みたいと思います。

2019年2月12日

勝山 彩

連絡先 〒143-0023  
東京都大田区山王1-31-2 石ビルMBF (壁画LABO)

「夢と希望の美術館」にご賛同いただける方ご都合の良い連絡先をご記入ください。

フリガナ

氏名

住所

E-mail

携帯 mail

TEL

FAX

得意分野をお書きください